

平成30年度 事業計画書

部署	老健ケアセンターゆうわ（入所）	記入者職氏名	課長 西依 昌子
----	-----------------	--------	----------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 収益目標の達成
2. 選ばれる施設となる。
3. 働きやすい職場環境を作ることにより、離職者ゼロを目指す。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収益目標の達成のために、加算型から強化型への移行を目指す。
 - ①入退所前後の訪問指導を30%以上に行う
 - ②退所後の生活が問題なく送れているかを自宅訪問し確認する。
 - ③地域貢献活動として、家族会を実施（年4回）し、介護者を抱える家族が心身共に負担軽減できるようにする
 - ④支援相談員3名、リハ専門職3名を配置し、週3回程度以上のリハビリを実施する
2. 選ばれる施設となるために
 - ①入所者様本位のサービス提供により、職員が誇りと喜びを感じて笑顔で仕事ができる。
 - ②マニュアル作成・実行により、ケア・サービスの統一化を図る。
 - ③棟内カンファレンスや老健合同ミーティングを実施し情報共有する。
 - ④タリアを利用して、家族と共に過ごす退所お祝い会・誕生会などを開催する。
 - ⑤眠りスキャンを活用した生活管理システムの活動報告を来年度老健大会で行う準備をする。
3. 働きやすい職場環境を作ることにより、離職者ゼロを目指す。
 - ①眠りスキャンや体動センサーを活用し訪室回数の減少を図る。
 - ②介護ロボットの導入により職員の身体的負担を軽減する。
 - ③ほのぼのソフトを活用し今後の電子カルテの導入に向け、必要な研修に参加する。

平成30年度 事業計画書

部署	サポートセンター タリア総合	記入者職氏名	石原 絵美
----	----------------	--------	-------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 収益目標の達成
2. 選ばれる施設となる
3. 各通所サービス及びタリアと連携した利用者の移行、卒業のながれを確立する

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収益目標の達成
…利用者の獲得（登録30名）・利用者の継続した利用を目指す
 - ① 総合事業の目的を訴え、各支援サービス等と比較した、特色の見えやすいパンフレットの作成（前年度の活動風景等を取り入れたもの）、対象者に向けた営業活動の実施
 - ② かかりつけ医への状況報告書提出の継続に合わせ、総合事業の説明・営業の実施
 - ③ タリア会員に向けた近隣の対象者発掘の声掛け
2. 選ばれる施設となる
…提供サービスの品質維持・向上を目指す
 - ① 利用人数に合わせた効率のよいサービス内容の見直し（無駄な待機時間のない、スムーズなトレーニング時間の確保を図る）、それに合わせたマニュアルの作成
 - ② 通所サービスと連携させた円滑な送迎方法を検討
 - ③ 提供日時の再検討（前年度の利用状況（火曜日午前の登録0名）を取り入れ検討）
 - ④ 職員の育成（総合事業の目的・意義を理解した業務への取り組み等、総合事業におけるホスピタリティーの在り方を考えたマニュアルの作成）
 - ⑤ タリアサポーター制度と連携したサービスの提供
3. 各通所サービス及びタリアと連携した利用者の移行、卒業のながれを確立する
 - ① （1-1）作成したパンフレットを用い、緩和されたサービスの利用が適切と思われる方へアプローチを行う
 - ② 各通所サービスを利用中の方の情報を迅速に反映・共有できるシステム（ITを用いた）の確立を目指す

平成30年度 事業計画書

部署	通所リハビリ	記入者職氏名	課長 田村 直洋
----	--------	--------	----------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 収益目標の達成。
2. 選ばれる施設となる。
3. IT導入に向けた準備を行う。
4. 地域に開かれた施設運営を行う。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収益目標の達成。
 - ① 介護報酬改定（単位数減少）により年間約270万円の減収を、新加算を算定することにより年間約338万円増収する。
 - ・リハ会議に医師が参加できる環境をつくり、リハビリテーションマネジメント加算Ⅲ、Ⅳを算定する。
 - ・3月ごとにリハビリテーション計画を更新し、予防リハビリマネジメント加算を算定する。
 - ② 時短利用者については、3～4時間の利用者の新規を獲得し、デイサービスと連携を取る。
 - ③ デイサービス利用者へ3ヶ月限定の集中リハビリと入浴をケアマネへ提案する。
2. 選ばれる施設となる。
 - ① レベル評価票をもとに接遇、介護技術の向上を図る
 - ② 利用者へのサービス提供時間を見直し、リハビリ専門色を強くする。
 - ③ デイゆうわ、デイサービス、タリアの通所部署で多種多様なニーズにこたえる。
3. IT導入に向けた準備を行う
 - ① H31年度に、ICT、IoT機器の導入費用をあげられるように、部署内で検討を行う。
 - ② 現在使用している書類や請求確認用の記録などを見直し、まとめられるものはまとめ、簡素化を図る
 - ③ 新しい請求ソフトの有効活用方法を検討し、現在の業務に取り入れる
4. 地域に開かれた施設運営を行う。
 - ① スタッフが地域の行事等へ手伝い参加する。
 - ② 地域貢献活動を実施する。

平成30年度 事業計画書

部署	デイサービス	記入者職氏名	チーフ 中上 竜太
----	--------	--------	-----------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

5. 収益目標の達成。
6. 選ばれる施設となる。
7. IT導入に向けた準備を行う。
8. 地域に開かれた施設運営を行う。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

5. 収益目標の達成。
 - (ア) 稼働率 95% (38 人)、年間収入 86,164,526 円を目指す。
 - (イ) 基本報酬年間 702,480 円減を補うため、新たに生活機能向上加算の算定を年度末時点で最低 50 名行う。
 - (ウ) 新規の短時間利用については、通所リハ利用者のみとする。
6. 選ばれる施設となる。
 - ① レベル評価票をもとに接遇、介護技術の向上を図る。
 - ② 利用者様への提供サービスを見直し、通いたくなるデイサービスにする。
 - ③ デイゆうわ、通所リハ、タリアの通所部署で多種多様なニーズにこたえる。
7. IT導入に向けた準備を行う。
 - ① H31 年度予算に、ICT、IOT 機器の導入費用をあげられるように、部署内で検討を行う。
 - ② 現在使用している書類や請求確認用の記録などを見直し、まとめられるものはまとめ、データ化および簡素化を図る
 - ③ 新しい請求ソフトの有効活用方法を検討し、現在の業務に取り入れる
8. 地域に開かれた施設運営を行う。
 - ① レクリエーションの一環として地域のイベント等へ参加する
 - ② ボランティアの受け入れを行う
 - ③ スタッフが地域の行事へ手伝いに行く

平成30年度 事業計画書

部署	デイ・ゆうわ	記入者職氏名	主任 硯谷 香里
----	--------	--------	----------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 収益目標の達成。
2. 選ばれる施設となる。
3. 事業所版・利用者版について、細かいことまで具体的なマニュアルを作成する。
4. 職員間の情報共有を行い、記録・業務の効率化に努める。
5. 認知症専門事業所として、地域に対し、ノウハウを生かせる施設運営を行う。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収益目標の達成。
 - ① 稼働率 67% (8人)、年間収入 14,336,691 を目指す。
 - ② 主治医へ毎月1回、情報報告書を作成配布、リアルタイムでの情報共有を行う。
 - ③ ケアマネへ毎月1回、情報提供書を継続配布、リアルタイムでの情報共有を行い、連携を密にする。
2. 選ばれる施設になる。
 - ① レベル評価票をもとに接遇、介護技術の向上を図る。
 - ② ご本人だけでなく、ご家族への支援がしっかりと行える事業所を目指す。
3. 事業所版・利用者版について、細かいことまで具体的なマニュアルを作成する。
 - ① 利用者様一人ひとりのサービスをプログラム化し、個別に提供する。
 - ② 月末にモニタリングを行い、見直しを行う。
4. 職員間の情報共有を行い、記録・業務の効率化に努める。
 - ① 笑顔を引き出す認知症ケアの実践をするため、利用者ごとのプログラム作成を行う。
 - ② 月末に職員がミーティングを行い、利用者様の現状確認とともに、業務の効率化について、確認する。
5. 認知症専門事業所として、地域に対し、ノウハウを生かせる施設運営を行う
 - ① ご利用者様…ご本人の残存能力を把握し、しっかりと目配り・気配り・心配りを行い、楽しい時間を提供する
 - ② ご家族様…毎月1回のご家族面談、年2回の家族会を開催し、ご家族の声を活用する。
 - ④ 年2回介護負担評価表を配布し、現状を把握する

平成30年度 事業計画書

部署	ケアハウス	記入者職氏名	課長 川口 欽市
----	-------	--------	----------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 収入目標の達成
2. 選ばれる施設となる
3. 地域に開かれた施設運営
4. 働きやすい職場の創造
5. やりがいのある職場の創造

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収入目標の達成 (H30年度 16385万円+46 H29年度 16339万円)
 - ① 生活機能向上連携加算の算定
 - ② 口腔衛生管理の充実
 - ③ 平均介護度2を目指す
2. 選ばれる施設となる
 - ① リハビリの充実
 - ② 口腔衛生管理の適切な実施
 - ③ サービスの質の向上
3. 地域に開かれた施設運営
 - ① 地域のイベントへの参加
 - ② 施設行事への地域の方の協力
4. 働きやすい職場の創造
 - ① 眠りスキャンや介護ロボット導入のための話し合いとマニュアル作成
 - ② トランシーバー、廊下の見守りカメラの運用とマニュアルの作成
 - ③ 紙媒体書類削減への取り組み
5. やりがいのある職場の創造
 - ① 資格取得の奨励目標管理シートを利用して、キャリアプランを作る

平成30年度 事業計画書

部署	有料老人ホームゆうわ マ・ゾン	記入者職氏名	波多野 真吾
----	-----------------	--------	--------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 収益目標の達成。
2. 選ばれる施設となる。
3. 働きやすい環境作りを行い、職員の負担、ストレスを軽減する。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収益目標の達成
 - ①入居率月平均96%（26名）以上、満床時の収入予算3,599,500円、法人内サービス利用率85%以上を目指す。
 - ②週1回、営業（主として柳井、平生、田布施、周防大島）病院、居宅介護支援事業所を回る
 - ③新規入居者、待機者確保のための営業ツールを空き情報だけでなく、施設のイベントを盛り込んだ内容の月報を作成。
 - ④退去から次の入居までの流れを迅速に行う。（居室クリーニング、次入居者の選定、ケアプラン作成、契約、入居）
2. 選ばれる施設となる。
 - ①ケアハウスと連携し日々のクリエイション、企画参加による入居者の生活の質の改善を行う
 - ②地域活動への参加支援を実施していく（伊保庄まつり、阿月神明祭等イベントへの参加）
 - ③日常の業務及び、ご利用者へのサービスの質の向上を前提としたマニュアルの作成
 - ④家族様、入居者様向けの定期アンケートの実施
3. 働きやすい環境づくりを行い、職員の負担、ストレスを軽減する
 - ①当日の状況をまとめる現場リーダーを選定し、情報の集約を行い、連携の円滑化を図る
 - ②眠りスキャン活用マニュアルを作成し、より有効に利用することで特に夜間の訪問回数を減らす。
 - ② 有料老人ホームと定期巡回の業務を視覚的にも明確化し、部署全職員が線引きを理解する。

平成30年度 事業計画書

部署	定期巡回訪問サービス	記入者職氏名	貞弘 鉄太
----	------------	--------	-------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 収益目標の達成。
2. 選ばれる施設となる。
3. 知識と技術の向上を行い、ホスピタリティーを重視したサービスの質の向上を図る。
4. 職員の負担軽減を目的としたICTの活用、他部署との連携を図る。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収益目標の達成。
 - ①有料老人ホーム入居者増加に伴い定期巡回登録者を増やす。H29年度1月までの実績22,295,810円→H30年度1月までの予定実績45,184,209円（マ・メゾン空き7部屋：定期巡回登録者19名→26名の見込み）
 - ②ケアマネと家族への情報提供を密に行う事で現登録者の定期訪問見直し（時間、内容）、必要サービスの提供、効率化することで人員削減、新規利用者獲得へ繋げる。
2. 選ばれる事業所となる。
 - ①近隣の地域住民を社会資源として、協力を得ながら定期巡回利用者の在宅生活を支えていく。
 - ②運営推進会議の場を利用して家族や地域住民、他職種（行政、訪問看護）と連携を強化した体制を作る。
 - ③理念に沿った雰囲気、接遇態度で、日々の生活を楽しめる環境づくりを行う。
3. 知識と技術の向上を行い、ホスピタリティーを重視したサービスの質の向上を図る
 - ①毎月、必要時のミーティングを行い、職員間の情報共有、業務改善を行う。
 - ②毎月、部署内での勉強会や接遇研修を行い、知識、介護技術の向上と利用者を第一に考え、接遇の意識を高めていく。
 - ③有料老人ホーム、定期巡回、ヘルパーの業務の棲み分けを明確化し、利用者・家族に理解してもらえるよう職員間で徹底する。
4. 職員の負担軽減を目的としたICTの活用、他部署との連携を図る。
 - ①眠りスキャン、カメラを有効活用して、職員の負担軽減を目指し設備への意味と理解を深める。
 - ① 他部署と連携して臨機応変に職員の応援の依頼、行事への参加を行う。

平成30年度 事業計画書

部署	ヘルパーステーション	記入者職氏名	貞弘 鉄太
----	------------	--------	-------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 収益目標の達成。
2. 選ばれる施設となる。
3. 知識と技術の向上を行い、ホスピタリティーを重視したサービスの質の向上を図る。
4. 職員の負担軽減を目的としたICTの活用、他部署との連携を図る。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収益目標の達成。
 - ①現登録者の現状維持。マ・メゾン入居者へ必要時のもみじケア(実費ヘルパー)を提供する。
H29年度1月までの実績2,608,220円→H30年度1月までの予定実績2,530,080円
2. 選ばれる事業所となる。
 - ①近隣の地域住民を社会資源として、協力を得ながら定期巡回利用者の在宅生活を支えていく。
 - ②運営推進会議の場を利用して家族や地域住民、他職種(行政、訪問看護)と連携を強化した体制を作る。
 - ③理念に沿った雰囲気、接遇態度で、日々の生活を楽しめる環境づくりを行う。
3. 知識と技術の向上を行い、ホスピタリティーを重視したサービスの質の向上を図る
 - ①毎月、必要時のミーティングを行い、職員間の情報共有、業務改善を行う。
 - ②毎月、部署内での勉強会や接遇研修を行い、知識、介護技術の向上と利用者を第一に考え、接遇の意識を高めていく。
 - ③有料老人ホーム、定期巡回、ヘルパーの業務の棲み分けを明確化し、利用者・家族に理解してもらえるよう職員間で徹底する。
4. 職員の負担軽減を目的としたICTの活用、他部署との連携を図る。
 - ①眠りスキャン、カメラを有効活用して、職員の負担軽減を目指し設備への意味と理解を深める。
 - ②他部署と連携して臨機応変に職員の応援の依頼、行事への参加を行う。

平成30年度 事業計画書

部署	グループホーム	記入者職氏名	久保山 香津美
----	---------	--------	---------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 収入目標の達成。
2. 選ばれる施設となる。
3. 職員一人一人の資質の向上に取り組む

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収入目標の達成。
 - ① 口腔ケア加算の取り組みを行う。@300×9名=2700
 - ② 入居者数 9名 平均介護度 3を維持
2. 選ばれる施設となる。
 - ① マニュアルを作成し入居者本位のサービスの徹底をはかる
 - ② その人らしい暮らしを支えるケアを行う。
3. 職員一人一人の資質の向上に取り組む。
 - ① レベル評価に基づいた自己評価表を作成し自己の向上をはかる。(毎月)
 - ② GH内での研修会を行う。(月1回、年12回)
 - ③ プリセプター方式を取り入れ職員間で向上できるようにする。
4. 地域にひらかれた施設の運営
 - ① 地域の行事に参加する。(神明祭り、春祭り、三世代交流、敬老会)
 - ② レクリエーションや行事での地域への外出を行う(月1回、年12回)

平成30年度 事業計画書

部署	トータルケア	記入者職氏名	中村 美翔
----	--------	--------	-------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 収入目標の達成。
2. 選ばれる施設となる。
3. IT導入により、業務改善とスタッフの心身の負担軽減を行い、退職者を無くす。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収入目標の達成。
 - ①登録者数を96%以上の24名以上を維持し25名登録を目指す。『昨年度総収入：(29年度1月までの実績)5510万1144円→(30年度1月までの予定実績)5682万4465円』また、老健の在宅復帰の受け皿となる様に連携を深めていく。
 - ②法人内の相談員との連携をとることやライフパス会議への参加を行うことで、情報の共有を行う。
 - ③2ヶ月に1回は居宅介護支援事業所などへの営業を行う。
 - ④事業所内での事故や体調不良による入院などがないように努める。
2. 選ばれる施設となる。
 - ①ホスピタリティーの浸透を図り、利用者を最優先に考え、その一人ひとりが満足出来る様に寄り添ったケアを実践する。
 - ②理念に沿った雰囲気、接遇態度で日々の生活を楽しめる環境づくりを行う。また、地域の行事への積極的な参加を行う。
 - ③施設内外の研修に積極的に参加する。
 - ④初任者研修、介護福祉士、介護支援専門員などの資格取得を促す。
 - ⑤地域ボランティアの積極的な受け入れを行う。
3. IT導入により、業務改善とスタッフの心身の負担軽減を行い、退職者を無くす。
 - ①眠りスキャンや離床センサー、監視カメラなどを導入することで、事故防止や業務量の軽減を行う。
 - ②ITと介護ロボットに関する情報収集やそれに伴うマニュアルの検討を行う。

平成30年度 事業計画書

部署	シンシア特養	記入者職氏名	ユニットリーダー 西村昌弘
----	--------	--------	---------------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 収入目標の達成
2. 選ばれる施設となるために、サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組むとともに、職員個々の医療・介護についての知識・技術の向上によりサービスの質の向上を図る。
3. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図るために、導入を想定したサービスマニュアルの見直しを行う。
4. 地域に開かれた施設運営を推進するために、積極的な地域住民とのコミュニケーションの場をつくり、地域住民へ社会資源の一つである職員の専門知識を還元する。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収入目標の達成のために
 - ①入居者の退居後、次期入居者が入居するまでの期間を短縮（平成29年度実績平均7日、平成30年度目標4日）するとともに、この期間で短期入所の受け入れを行い、実質稼働率100パーセントを目標とする。
 - ②入居者の日常生活動作の改善を図るため、特に栄養に関する取り組み、口腔衛生に関する取り組みを行い、これに相当する加算を新規算定する。
2. 選ばれる施設となるために、サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組むとともに、職員個々の医療・介護についての知識・技術の向上によりサービスの質の向上を図る。
 - ①ホスピタリティーの浸透を図り、入居者の満足度を最優先に考え、一人ひとりの満足に寄り添ったケアを実践するための、サービスマニュアルの見直しを上半期で行い、下半期以降で実施する。
 - ②24時間シートを用いたその人らしい暮らしを継続できるようサービスの内容の見直しを行い、第4四半期までに全員完了。
 - ③資格の取得に向けた情報の発信、勉強会の開催を行う（介護職員初任者研修、介護福祉士）。
 - ④外部研修の参加による育成を行う（ユニットリーダー研修、認知症介護実践者研修）。
3. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図るために、導入を想定したサービスマニュアルの見直しを行う。
 - ①法人の整備計画を見据え、導入すればどのような負担軽減が図れるかサービスマニュアルとも連動させ検討する。
 - ②法人内で行われる同取り組みの研修に積極的に参加し、得られた知識を生かしIT導入による負担軽減を提案する。
4. 地域に開かれた施設運営を推進するために、積極的な地域住民とのコミュニケーションの場をつくり、地域住民へ社会資源の一つである職員の専門知識を還元する。
 - ①シンシアふれあい祭りの継続開催。
 - ②地域での認知症サポーター養成講座の開催。

平成30年度 事業計画書

部署	シンシア短期入所生活介護	記入者職氏名	ユニットリーダー 宮本 晃輔
----	--------------	--------	----------------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 収入目標の達成
2. 選ばれる施設となるために、サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組むとともに、職員個々の医療・介護についての知識・技術の向上によりサービスの質の向上を図る。
3. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図るために、導入を想定したサービスマニュアルの見直しを行う。
4. 地域に開かれた施設運営を推進するために、積極的な地域住民とのコミュニケーションの場をつくり、地域住民へ社会資源の一つである職員の専門知識を還元する。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収入目標の達成のために
 - ①利用者の都合による急遽の利用中止による空床（平成29年度月平均4床）を、急遽の利用に対応できる利用待機者を確保し実質稼働率100パーセントを目標とする。
2. 選ばれる施設となるために、サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組むとともに、職員個々の医療・介護についての知識・技術の向上によりサービスの質の向上を図る。
 - ①ホスピタリティーの浸透を図り、入居者の満足度を最優先に考え、一人ひとりの満足に寄り添ったケアを実践するための、サービスマニュアルの見直しを上半期で行い、下半期以降で実施する。
 - ②ユニットでの炊飯を上半期で、ユニットでの食事の盛り付けを下半期で開始する。
 - ③資格の取得に向けた情報の発信、勉強会の開催を行う（介護職員初任者研修、介護福祉士）。
 - ④外部研修の参加による育成を行う（ユニットリーダー研修、認知症介護実践者研修）。
3. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図るために、導入を想定したサービスマニュアルの見直しを行う。
 - ①法人の整備計画を見据え、導入すればどのような負担軽減が図れるかサービスマニュアルとも連動させ検討する。
 - ②法人内で行われる同取り組みの研修に積極的に参加し、得られた知識を生かしIT導入による負担軽減を提案する。
4. 地域に開かれた施設運営を推進するために、積極的な地域住民とのコミュニケーションの場をつくり、地域住民へ社会資源の一つである職員の専門知識を還元する。
 - ①シンシアふれあい祭りの継続開催。
 - ②地域での認知症サポーター養成講座の開催。

平成30年度 事業計画書

部署	シンシアデイサービスセンター	記入者職氏名	主任 坂本 晃洋
----	----------------	--------	----------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 収入目標の達成
2. 選ばれる施設となる
3. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
4. 積極的に地域住民とのコミュニケーションの場を作る

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収入目標の達成のために
 - ①登録利用者を増やし稼働率を上げる（計画策定時実績：登録27名、月延利用195回、上半期終了時目標：登録36名、月延利用263回、下半期終了時目標：登録44名、月延利用330回）
 - ②サービス提供体制強化加算の新規算定
 - ③生活機能向上連携加算の新規算定
2. 選ばれる施設となるために
 - ①これからの利用者像に沿ったサービスメニューを開発し提供する。
3. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図るために
 - ①IT技術の導入により、事業所の具備書類等の作成に係る時間短縮を図る。
4. 積極的に地域住民とのコミュニケーションの場を作るために
 - ①シンシアふれあい祭りの継続開催。
 - ②地域での認知症サポーター養成講座の開催。

平成30年度 事業計画書

部署	小規模多機能シンシア	記入者職氏名	管理者 吉崎和江
----	------------	--------	----------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 収入目標の達成
2. 選ばれる施設となるために、サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組み、職員個々の医療・介護についての知識・技術の向上によりサービスの質の向上を図る。
3. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図るために、導入を想定したサービスマニュアルの見直しを行う。
4. 地域に開かれた施設運営を推進するために、積極的な地域住民とのコミュニケーションの場をつくるとともに、地域住民へ社会資源の一つである職員の専門知識を還元する。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収入目標の達成のために
 - ①24時間を通じた安心、安全なサービスを提供するため訪問サービスを強化し、これに相当する加算を新規算定する。
2. 選ばれる施設となるために、サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組み、職員個々の医療・介護についての知識・技術の向上によりサービスの質の向上を図る。
 - ①ホスピタリティーの浸透を図り、利用者の満足度を最優先に考え、一人ひとりの満足に寄り添ったケアを実践するための、サービスマニュアルの見直しを上半期で行い、下半期以降で実施する。
 - ②資格の取得に向けた情報の発信、勉強会の開催を行う（介護職員初任者研修、介護福祉士）。
 - ③学卒採用者と中途採用者双方にプリセプターを配置し、互いに切磋琢磨できる環境を整える。
3. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図るために、導入を想定したサービスマニュアルの見直しを行う。
 - ①法人の整備計画を見据え、導入すればどのような負担軽減が図れるかサービスマニュアルとも連動させ検討する。
4. 地域に開かれた施設運営を推進するために、積極的な地域住民とのコミュニケーションの場をつくるとともに、地域住民へ社会資源の一つである職員の専門知識を還元する。
 - ①シンシアふれあい祭りの継続開催。
 - ②地域での認知症サポーター養成講座の開催。

平成30年度 事業計画書

部署	シンシアゆうわ居宅介護支援事業所	記入者職氏名	管理者 長谷川 亜矢
----	------------------	--------	------------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 収益目標の達成。
2. 選ばれる施設となる。
3. 介護支援専門員としての専門性を高め、質の向上を図る。
4. 関係機関との連携を強化する。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収益目標の達成のために
 - ①毎月、新規利用者様を獲得し、初回加算や退院退所加算を算定する。
 - ②利用者動向（新規、介護度変化、入退院）を確実に把握し、加算の取りこぼしのないようにする。
 - ③利用者様入院の際は、週末や、特別な事情がある場合を除き、入院時医療連携加算Ⅰを算定する。
 - ④退院退所による新規の利用者様に関しては、初回加算では無く退院退所加算で算定する。
2. 選ばれる施設となるために
 - ①依頼のあったケースは断らない。
 - ②認定調査等でサービス未利用者に関わった際には、今後も相談を受け付けると伝える。
 - ③各関係機関との連携や交流を通じて、当居宅のイメージアップをはかり依頼しやすい雰囲気づくりに努める。
3. 介護支援専門員としての専門性を高め、質の向上を図る。
 - ①施設内研修、地域包括支援センター主催研修、岩国市役所主催研修、岩国市医師会主催研修、その他業務に関する研修へ積極的に参加する。
 - ②介護支援専門員法定研修に参加し介護支援専門員としての質を維持する。
 - ③時間外や超過勤務を減らすよう、個々のスキルを向上すると共に、業務の見直しや改善を検討していく。
4. 関係機関との連携を強化する。
 - ①各サービス事業所相談員や他の居宅介護支援事業所介護支援専門員との定期的な関わりを持つことで横の繋がりを強化する。
 - ②保険者、地域包括支援センター、医療機関、民生委員や福祉委員などへ積極的に訪問し、関係性を深める。
 - ④ 法人内事業所相談員との日常的な情報交換を行う。

平成30年度 事業計画書

部署	シンシアサポートセンタータリア	記入者職氏名	管理者 坂本 晃洋
----	-----------------	--------	-----------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 収入目標の達成
2. 選ばれる施設となる
3. IT導入を想定したサービスマニュアルの見直しを行う
4. 積極的に地域住民とのコミュニケーションの場を作る
5. 地域住民のボランティアの活用

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収入目標の達成のために
 - ①地域包括支援センター、主治医と連携し継続的な利用者の確保を行う
2. 選ばれる施設となるために
 - ①地域住民の健康寿命の延伸に向けたサービスメニューを開発し提供する。
3. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図るために
 - ①IT技術の導入により、事業所の具備書類等の作成に係る時間短縮を図る。
 - ②法人内で行われる同取り組みの研修に積極的に参加し、必要な知識を身に着ける。
 - ③研修で得られた知識を生かし、IT導入による負担軽減を提案する。
4. 積極的に地域住民とのコミュニケーションの場を作るために
 - ①シンシアふれあい祭りの継続開催。
5. 地域住民のボランティアの活用のために
 - ①地域住民主体のノルディッククラブの活動支援
 - ② 地域住民のボランティアスタッフの募集、育成。

平成30年度 事業計画書

部署	栄養管理課	記入者職氏名	中尾 千代子
----	-------	--------	--------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 選ばれる施設となる
2. IT導入推進により業務の効率化と職員負担の軽減を図る
3. 在宅復帰・在宅支援等地域に向けた栄養サポート

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1 選ばれる施設となる

(ア) 満足度アップの食事提供

- ・全スタッフが均一した業務が遂行できるようになる
- ・各業務のマニュアルの見直し整備する（各担当者を決めて実施）
- ・五感で楽しめる食事内容。盛付にする・・・アイデアを出しあいリニューアルメニューを作る
- ・1か月分の献立表配布へ
- ・選択食1回/月

(イ) 低栄養の方の栄養改善を図る

- ・ミキサー食・ソフト食は加水するため量が多くなり全摂取が難しいため適切量で栄養を取ることが出来るようにする
- ・栄養剤の選別・試作・マニュアル化・提供・改善

2 IT導入推進により業務の効率化と職員負担の軽減を図る

① サテライトへの食材仕分け・切込みの軽減

食材仕分け済の仕入れやカット済の野菜の仕入等。業者への協力・価格交渉を図る

② 業務の効率化や職員の負担軽減のためIT導入化に向けて整備する

各部署の食数情報管理 ・食材の在庫管理 ・消耗品の管理・入所者・入居者様の基本情報

食事に関する情報を共有して食事提供や栄養ケアプランに活かす

3 在宅復帰・在宅支援等地域に向けた栄養サポート

① タリアにて栄養教室を開き栄養情報提供をする 1回/3か月

(栄養管理課だより・ゆうわ苑だよりにて栄養情報発信する)

③ 配食サービス・・・定期的に配達者に同行。お弁当に関する情報収集をしてお弁当作りに生かす

平成30年度 事業計画書

部署	居宅介護支援事業所	記入者職氏名	山根 優子
----	-----------	--------	-------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 収入目標の達成。
2. 選ばれる施設となる。
3. 介護支援専門員としての専門性を高め、質の向上を図る。
4. 各関係機関との連携を強化する。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収入目標の達成
 - ① 利用者動向（新規、介護度変化、入退院）を確実に把握し、加算の取りこぼしのないようにする。
2. 選ばれる施設となる
 - ① 法人内在宅部門との連携を密にする為、情報交換会を開催する。
3. 介護支援専門員としての専門性を高め、質の向上を図る。
 - ① 法人内外の研修会、事例検討会等の場に参加する。
 - ② 居宅内カンファレンスを週1回実施する。
 - ③ 時間外や超過勤務を減らすよう、個々のスキルを向上すると共に、業務の見直しや改善を検討していく。
4. 各関係機関との連携を強化する
 - ① 法人内外の連携や情報共有の場への出席や、利用者の個々の状況に応じた必要な連携を行う。
 - ② 地域におけるICT、IoT、ネットワーク等を活用したサービス連携の実情を把握し、必要時は活用にむけ検討する。

平成30年度 事業計画書

部署	ソーシャルコンシェルジュ	記入者職氏名	次長 西依 憲一
----	--------------	--------	----------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 収益目標の達成
2. 選ばれる施設となる
3. 対人援助、福祉サービス知識、説明能力向上
4. 恒和会全体サービス情報の共有（NDソフトの有効活用）
5. 総合事業～施設サービスの総合マネジメント

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収益目標の達成（下期より在宅強化型算定、稼働率95%）
 - ① 在宅復帰率30%超を維持する。
 - ・ケアハウス、マメゾン、GH、TCとの連携。ライフパス会議で入退所状況確認を実施する。
 - ・入院者の2週間以内の受け入れを基本とする。（重度者は1か月以内）大島病院との連携。
 - ・自宅復帰への取り組みアピールを再開。
 - ② ベッド回転率10%以上を維持する。
 - ・入所受け入れ条件の緩和検討。
 - ・療養型医療機関（光輝病院、大和病院）との連携
 - ・ケアハウス、マメゾン、GH、TCとの連携。ライフパス会議で入退所状況確認を実施する。
 - ③ 稼働率95%を目指し維持する。
 - ・自宅復帰への取り組みアピールを再開。
 - ・紹介先の変化を把握し、営業活動を再開。
 - ・入所受け入れ条件の緩和検討。
 - ・療養型医療機関（光輝病院、大和病院）との連携
2. 選ばれる施設となる
 - ① 医療機関との連携。入所受け入れ条件の緩和。
 - ② 要支援者の受け入れ体制を構築
3. 対人援助、福祉サービス知識、説明能力向上
 - ① 被相談者に向けたアンケート集計
 - ② 対人援助術の定期的研修
 - ③ 福祉サービス説明マニュアル作成
 - ④ 説明フローチャート作成

⑤ 申請～判定までのスケジュール管理

4. 恒和会全体サービス情報の共有（ND ソフトの有効活用）

- ① 全サービスの情報共有
- ② 共通情報シートの選定
- ③ ペーパーレス化の基盤づくり
- ④ 医療機関との連携アイテム模索

5. 総合事業～施設サービスの総合マネジメント

- ① ライフパス会議を全サービス利用者に適用
- ② ライフパス会議の迅速化、スリム化（いつでも出来る体制づくり）
- ③ 自立から要介護5までのサービス提供プラン作成
- ④ 医療管理レベルを明確化

平成30年度 事業計画書

部署	管理部（ばんびいな）	記入者職氏名	部長 丸本 健治
----	------------	--------	----------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 選ばれる施設となる

法人目標（1～3）達成のため法人全体のマネジメント機能を担い、
ご利用者ご家族や地域住民から信頼を得るだけでなく、働く場所として職員に選ばれる施設を目指す。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 選ばれる施設となる（職員に働く場所として選ばれる施設を目指す）

- ①職員の子育てと就労を両立する事が出来るよう、子どもの保育の面から法人として支援する
- ②保育施設の整備により、保育施設に関する課題により就労が望めなかった人材確保に努める
- ③子供の保育環境を整え、発達年齢（個々の発達）に応じた目標を立て目標達成に努める
- ④年間計画を立て、季節ごとに応じた行事を経験できるよう努める
- ⑤他事業所等への訪問を行い、三世代交流に努める

平成30年度 事業計画書

部署	訪問看護	記入者職氏名	管理者 本間 洋子
----	------	--------	-----------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 収入目標の達成
2. 選ばれる事業所となるために、訪問に携わる看護師の質の向上を図る。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 収入目標の達成のために
 - ①介護老人保健施設から自宅への退所者を対象に介護老人保健施設の医師の指示により訪問を行う。
 - ②定期巡回随時対応型訪問介護事業所との連携により、月平均1件の利用者にサービスを提供する。
 - ③上半期に近隣医療機関との関係を築き、下半期から医療機関の医師からの指示による訪問サービスを行うことにより、年度末には訪問件数月20件を目標とする。
2. 選ばれる事業所となるために、訪問に携わる看護師の質の向上を図る。
 - ①訪問看護ステップI研修を基に内部研修を実施する（訪問看護概論・展開論・経営管理・他医療に関する項目）
 - ③ホスピタリティーの浸透を図り、利用者を中心としたサービスが提供できるよう、マニュアルの見直しを行う。

平成30年度 事業計画書

部署	管理部	記入者職氏名	課長 鳥打 昌秀
----	-----	--------	----------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 選ばれる施設となる
法人目標（1～3）達成のため法人全体のマネジメント機能を担い、
ご利用者ご家族や地域住民から信頼を得るだけでなく、働く場所として職員から選ばれる施設を目指す。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

法人目標（1～3）を達成するため、法人全体のマネジメント機能を担います。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
 - ① マニュアルの整備と運用により、職員の素養向上と、法令・社会ルールを含めコンプライアンスの徹底を図る。
 - ② 経験による介護・看護技術格差の縮小に向け、ヒヤリハット・事故事例から課題共有と改善策を策定し、職場内研修で技術向上を図る。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
 - ① IT機器導入を進め、職員間の情報共有や、事務負担の軽減と効率化を図り、時間資源を介護・看護へシフトする。
 - ② ワークライフバランス充実のため、定時退社（ノー残業デー）を徹底するとともに、休暇・福利厚生制度の見直しを検討する。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。
 - ① 介護相談日や介護技術教室、介護用品の試用、認知症教室等のセミナー等を開催する。
 - ② 講演会の開催や納涼祭等のイベント、また、タリアを地域に開放することにより、施設への親近感を醸成する。
 - ④ 高齢者、障がい者の積極的雇用を通じ、地域で働く場所を提供する。

平成30年度 事業計画書

部署	事務部	記入者職氏名	課長 難波 朋子
----	-----	--------	----------

I. 法人事業目標

ビジョン 最高のホスピタリティーを提供し、選ばれる施設となる。

1. サービス品質の向上を図るためマニュアル等の整備に取り組む。
2. IT導入推進により効率化と職員負担の軽減を図る。
3. 地域に開かれた施設運営を推進する。

II. 部門目標

1. 選ばれる施設となる

法人目標（1～3）達成のため法人全体のマネジメント機能を担い、ご利用者ご家族や地域住民から信頼を得るだけでなく、働く場所として職員から選ばれる施設を目指す。

III. 事業計画 ※法人目標、部門目標を達成するための具体的計画

1. 選ばれる施設となる

- ①心ある、心通う施設を目指し、ホスピタリティ（利用者家族、職員間）の充実を図る
- ②徹底した接遇研修を行う

2. 地域に開かれた施設運営を推進する。

- ① 介護相談日や介護技術教室、介護用品の試用、認知症教室等のセミナー等を開催する。
- ② 講演会の開催や納涼祭等のイベント、また、タリアを地域に開放することにより、地域に密着し地域に開かれた施設を目指す
- ③ 高齢者、障がい者の積極的雇用を通じ、地域で働く場所を提供する。
- ④地域の認知症見守り支援として、ひとり歩き模擬訓練を実施し地域貢献に努める